

RFID シャッターゲート管理システム

従来のシャッターゲートシステム



シャッター前でシャッター付属のリモコンを押す

シャッターが開く

メリット／デメリット

メリット

- ・ システムが簡単(トラブルはほぼハード故障のみ)

デメリット

- ・ リモコン本体が高価(1個1万円以上する場合もある)
- ・ シャッター前でリモコンを探す／押すの手間がかかる。
- ・ リモコンを紛失などした場合、悪意ある人に不正利用される。(不正利用を防げない)
- ・ いつ、誰が入庫／出庫したか分からない。

新シャッターゲート管理システム

- ・ 車がシャッター前に到着 → 赤外線センサーに反応して自動でリーダーを起動
- ・ IDカードを読み込む → 認証判定OK → シャッターが開く

特長

- ① IDカードは低価格(1枚千円以下)
- ② IDカードをリーダーの読める位置へ常に置いておけば、IDカードを探す／かざす手間はかからない。
- ③ データベース内の認証データを変更する事で、IDカードの登録／削除が容易に出来る。
(もしIDカードを紛失しても、すぐにそのIDカードの使用停止が出来る)
- ④ いつ、誰が入庫／出庫したかログに履歴が残る。
- ⑤ 遠隔操作でいつでもシステムの再起動／ログ取得が出来る。

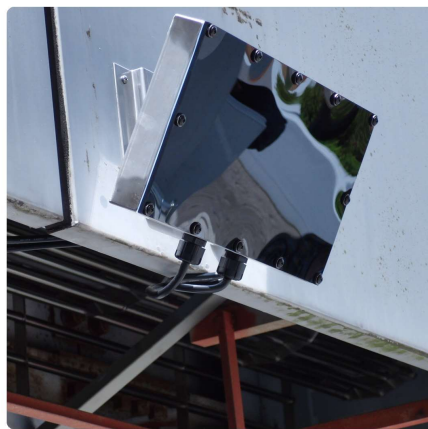
RFID シャッターゲート管理システム

新シャッターゲート管理システムイメージ

- ・ IDカード所有の車が接近
- ・ リーダー起動
- ・ IDカードの読み取り



実際の現地設置写真



2019.04.01



開発・製造・販売：株式会社シーデックス
〒206-0804 東京都稲城市百村1623-1
TEL：042-378-5999 FAX：042-378-5998
E-Mail：920uhf-rfid@cdex.co.jp
URL：http://www.cdex.co.jp

販売代理店：

本カタログの内容は予告なく変更になる場合があります。